

国土数值情報（立地適正化計画区域）

製品仕様書

第 1.0 版

令和 3 年 3 月

国土交通省都市局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2021 年 3 月	初版

目次

1. 概覧	1
1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的	1
1.3. 適用範囲.....	1
1.4. 引用規格.....	1
1.5. 用語と定義	1
1.6. 略語	2
1.7. 参考資料.....	2
2. 適用範囲	2
2.1. 適用範囲識別.....	2
2.2. 階層レベル	2
3. データ製品識別	3
3.1. 製品仕様識別.....	3
4. データ内容および構造	3
4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	3
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ	3
4.1.2 指定地域パッケージ	4
4.1.3 密集市街地パッケージ.....	4
4.2. 空間スキーマプロファイル.....	8
4.3. 時間スキーマプロファイル.....	8
5. 参照系.....	8
5.1. 座標参照系	8
5.2. 時間参照系	8
6. データ品質	9
6.1. 品質要求及び評価手順.....	9
7. データ製品配布	11
7.1. 配布書式情報.....	11
7.2. 配布媒体情報.....	11
8. メタデータ	11
附属資料	
1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
2. 符号化仕様	2

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（立地適正化計画区域）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：2021 年 3 月 26 日
- 作成者：国土交通省 都市局 都市計画課
- 言語：日本語
- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

1.2. 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や都市施策の実施等の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本製品仕様書に基づく国土数値情報（立地適正化計画区域）データは、市町村が都市再生特別措置法に基づいて作成した立地適正化計画に位置づけられた区域等のデータであり、3D都市モデルを用いたシミュレーションの活用等に用いることができるように、①計画区域である「立地適正化計画区域」、②居住を誘導する「居住誘導区域」、③都市機能増進施設の立地を誘導すべき「都市機能誘導区域」について、その範囲及び属性データを整備したものである。

1.3. 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：2016（平成 28）年 4 月 1 日から 2020（令和 2）年 12 月 31 日

1.4. 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014 令和元年 7 月

1.5. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014「附属書 5（規定）定義」

- 国土交通省不動産・建設経済局情報活用推進課 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7. 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

国土数値情報（立地適正化計画区域）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（立地適正化計画区域）データ
- 日付：2021年3月26日
- 問い合わせ先：国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述：全国

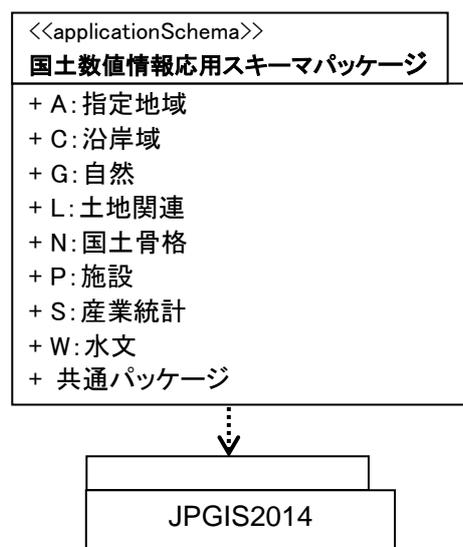
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

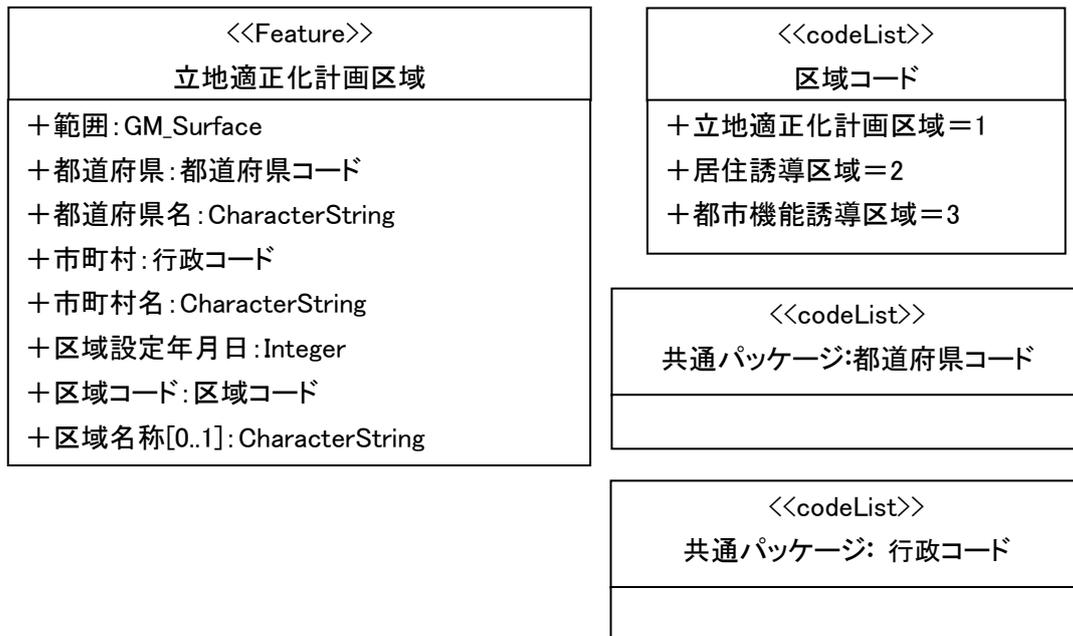
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

<<applicationSchema>> A02:指定地域メッシュ	<<applicationSchema>> A03:三大都市圏計画区域	<<applicationSchema>> A05:森林・国有地メッシュ	<<applicationSchema>> A07:リゾート法指定地域
<<applicationSchema>> A09:都市地域	<<applicationSchema>> A10:自然公園地域	<<applicationSchema>> A11:自然保全地域	<<applicationSchema>> A12:農業地域
<<applicationSchema>> A13:森林地域	<<applicationSchema>> A15:鳥獣保護区	<<applicationSchema>> A16:人口集中地区	<<applicationSchema>> A17:過疎地域
<<applicationSchema>> A18:半島振興対策実施地域	<<applicationSchema>> A19:離島振興対策実施地域	<<applicationSchema>> A20:奄美群島	<<applicationSchema>> A21:小笠原諸島
<<applicationSchema>> A22:豪雪地帯	<<applicationSchema>> A23:特殊土壌地帯	<<applicationSchema>> A24:振興山村	<<applicationSchema>> A25:特定農山村地域
<<applicationSchema>> A26:土砂災害危険個所	<<applicationSchema>> A27:小学校区	<<applicationSchema>> A28:世界自然遺産	<<applicationSchema>> A29:用途地域
<<applicationSchema>> A30a5:土砂災害・雪崩メッシュ	<<applicationSchema>> A30b:竜巻等の突風	<<applicationSchema>> A31:洪水浸水想定区域	<<applicationSchema>> A32:中学校区
<<applicationSchema>> A33:土砂災害警戒区域	<<applicationSchema>> A34:世界文化遺産	<<applicationSchema>> A35a:景観計画区域	<<applicationSchema>> A35b:景観地区・準景観地区
<<applicationSchema>> A35c:景観重要建造物・樹木	<<applicationSchema>> A37:半島循環道路	<<applicationSchema>> A38:医療圏	<<applicationSchema>> A39:密集市街地
<<applicationSchema>> A40:津波浸水想定	<<applicationSchema>> A42:歴史的風土保存区域	<<applicationSchema>> A43:伝統的建造物群保存地区	<<applicationSchema>> A45:国有林野
<<applicationSchema>> A46:地すべり防止区域	<<applicationSchema>> A47:急傾斜地崩壊危険区域	<<applicationSchema>> A48:災害危険区域	<<applicationSchema>> A49:高潮浸水想定区域
<<applicationSchema>> A50:立地適正化計画区域			

4.1.3 立地適正化計画区域パッケージ

このパッケージは、立地適正化計画区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマクラス図

立地適正化計画区域

立地適正化計画区域は、市町村が都市再生特別措置法に基づいて作成した立地適正化計画に位置づけられた区域等のデータであり、「立地適正化計画区域」、「居住誘導区域」、「都市機能誘導区域」について、その範囲及び属性データを整備したものである。

データ作成の参照資料を以下に示す。

- ・国土交通省都市局都市計画課
「立地適正化計画作成の取組状況」令和2年12月31日
- ・「立地適正化計画」に係る収集資料（市町村）

上位クラス：

抽象／具象区分：具象

属性：

立地適正化計画区域

上位クラス：

抽象／具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

「立地適正化計画区域」の範囲。

都道府県：都道府県コード

都道府県を一意に識別するためのコード。

JIS規格(JIS X 0401)に準拠する。

■定義域

1～47

都道府県名：CharacterString

当該行政区の都道府県の名称。正式な名称である。

平仮名、片仮名、漢字等は全角とする。特殊な文字は使用しない。

■定義域

日本国内の都道府県名称。

市町村：行政コード

都道府県コードと市町村コードからなる、行政区を特定するためのコード。

JIS 規格（JIS X 0401、JIS X 0402）に準拠する。

■定義域

JIS 規格が定める 5 桁のコード値。

市町村名 : **CharacterString**

当該行政区の市町村の名称。正式な名称である。

平仮名、片仮名、漢字等は全角とする。特殊な文字は使用しない。

■定義域

日本国内の市町村名称。

区域設定年月日 : **Integer**

区域を設定した年月日。

■定義域

西暦で 8 桁の整数とする。「NULL」を許容しない。

例) 2021 年 3 月 31 日 → 20210331

なお、年月日が不明な場合は 99999999 とし、年のみが不明な場合は先頭の 4 桁を 9999 とする。

例) 不明年 3 月 31 日 → 99990331

また、年月のみがわかる場合には、日にあたる末尾 2 ケタを 99 とする。

例) 2021 年 3 月 → 20210399

区域コード : 区域コード

立地適正化計画区域、居住誘導区域、都市機能誘導区域の区別。

■定義域

区域	英語名	コード
立地適正化計画区域	Location Optimization Plan Area	1
居住誘導区域	Residence Target Area	2
都市機能誘導区域	Functional Hub Target Area	3

区域名称[0..1] : **CharacterString**

区域の名称。

■定義域

市町村が設定した区域の名称。名称がない場合は「NULL」とする。

例) ○○地区居住誘導区域

4.2. 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3. 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1. 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011/(B,L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6. データ品質

6.1. 品質要求及び評価手順

データ品質要素／副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ
データ品質評価尺度	データ集合内に、参照資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(過剰なデータ数/参照資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	参照資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データの割合：0%

データ品質要素／副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ
データ品質評価尺度	データ集合内に、参照資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(漏れのデータ数/参照資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	参照資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、応用スキーマが規定する定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数/データ集合内の地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ（GIS データから作成した場合）
データ品質評価尺度	データ集合内の地物の境界線と原典データの境界線を相対的に比較し、不一致がある場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率(%)=(不一致がある地物の数/データ集合内の地物の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ（PDF・紙資料から作成した場合）
データ品質評価尺度	データ集合と原典データを、原典データの縮尺で重ねて表示し、データ集合内の地物の位置と原典データの地物の位置が、図上でずれがある場合、その地物をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率（%）＝（エラーとなる地物の数／データ集合内の地物の総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ
データ品質評価尺度	データ集合と参照データとの比較を行い、地物型が正しく特定されていない場合、その個数をエラーとして数える。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	地物型が正しく特定されていないエラーの個数：0個

データ品質要素／副要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	立地適正化計画区域データ
データ品質評価尺度	地物属性を参照資料と比較し、参照資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率(%)＝(内容が一致しない地物属性の数／地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

- 書式名称

JPGIS2014 付属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

- 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS2014 (GML) 付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報 (立地適正化計画区域) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、符号化仕様の詳細については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

- 文字集合

UTF-8

- 言語

日本語

7.2. 配布媒体情報

- 単位

全国

- 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報（立地適正化計画区域）

製品仕様書 第 1.0 版

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名
指定地域パッケージ				
立地適正化計画区域パッケージ (A50)				
立地適正化計画区域			Location Optimization Plan Area	Location Optimization Plan Area
範囲	GM_Surface		bounds	Bounds
都道府県	都道府県コード		PrefectureCode	Prefecture Code
都道府県名	CharacterString		prefectureName	Prefecture Name
行政コード	行政コード		administrativeAreaCode	Administrative Area Code
市町村名	CharacterString		localGovernmentName	Local Government Name
区域設定年月日	Integer		establishedDate	Established Date
区域コード	区域コード		AreaCode	Area Code
区域名称	CharacterString		nameOfArea	Name Of Area

2. 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified" version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="LocationOptimizationPlanArea" type="ksj:LocationOptimizationPlanAreaType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="LocationOptimizationPlanAreaType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>立地適正化計画区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="prefectureCode" type="gml:CodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
            <xsd:appinfo>
              <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
            </xsd:appinfo>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="prefectureName" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="administrativeCode" type="gml:CodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>行政コード</xsd:documentation>
            <xsd:appinfo>
              <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
            </xsd:appinfo>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="localGovernmentName" type="xsd:string">
```

```

    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>市町村名</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="establishedDate" type="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>区域設定年月日</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="areaCode" type="gml:CodeType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>区域コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="nameOfArea" type="xsd:string" minOccurs="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>区域名称</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CrowdCityPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:CrowdCity" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CrowdCityMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:CrowdCity" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<!-- コードリスト定義 -->
<xsd:simpleType name="AreaCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>区域コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:AreaCodeEnumType ksj:AreaCodeEnumType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="AreaCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>立地適正化計画区域</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>

```

```
<xsd:appinfo>
  <gml:description>居住誘導区域</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>都市機能誘導区域</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>
```